

令和5年度 学校経営計画書及び学校評価計画書

内灘町立内灘中学校
校長 小村 隆典

1 教育目標

「確かな学力と心豊かでたくましい社会性を身につけた生徒の育成」

経営理念

- (1) 学校は、安心・安全で美しい環境のもと、生徒と教職員が互いに高め合う場である。
- (2) 学校は、生徒の学力の向上をはかり、人間力（粘り強く優しい心）を高める場である。
- (3) 学校は、生徒・保護者・地域から信頼のもと、教育が行われる場である

中・長期的目標

- (1) めざす学校像
 - 安心・安全で、美しく整備された学校
 - 生徒・教職員が明るく元気で互いに高め合う学校
 - 生徒・保護者・地域に信頼される学校
- (2) めざす生徒像
 - 思いやりがあり、自分も相手も大切にする生徒
 - 夢や目標の達成に向けて、粘り強く努力をする生徒
 - 自分で考え、仲間とともに高め合い、表現する生徒
 - 規範意識と責任感をもって行動する、礼儀正しい生徒
 - 国際感覚を身に付けるとともに、母校に愛着と誇りを持ち、郷土を愛する生徒
- (3) めざす教師像
 - 生徒一人ひとりの成長を強く願う教師
 - 生徒をよく観て、話をよく聴き、任せ、努力する姿勢を褒め、認めて生徒を伸ばす教師
 - 互いに高め合って指導力向上に励む教師
 - 高い危機管理意識を持ち、他の職員と協働する教師
 - 率先垂範する教師（挨拶、粘り強さ、優しさ）
 - 業務改善に努めることにより、教育の質向上をはかる教師

2 学校の現状

(1) 学習面について

- ・授業は、全体的に落ち着いた雰囲気である。
- ・教師主導の授業展開が多く、生徒主体の授業づくりに向けての授業改善が課題である。
- ・基礎・基本の定着が不十分であるとともに、活用力にも課題が見られる。授業改善とともに家庭学習の習慣化取組が必要である。

(2) 生活面について

- ・素直で明るい生徒が多い。
- ・生徒会執行部を中心として挨拶の向上をはかる取組の成果が見られる。

- ・不登校（傾向）生徒が各学級2～3人いる。いじめ・不登校の未然防止が課題である。心に不安を抱えた生徒も多く、スクールカウンセラーや外部機関と連携も欠かすことができない。

(3) その他

- ・夢・目標を持っている生徒は多いとは言えない。キャリア教育の充実是不可欠である。
- ・ホームページ等、学校からの情報などを保護者・地域に向けて積極的に発信している。今後も開かれた学校、信頼される学校を目指す。

3 今年度の重点目標及び主要な具体的取組

(1) 学校経営ビジョン（短期目標）

自他共栄 ～ 互いに高め合う学校づくり ～

- ①組織的な学校運営 …………… 協働 共通実践の徹底
- ②人間力の育成 …………… 挨拶 自他を大切にすること 粘り強さ
- ③率先垂範する教職員集団 …… 挨拶 生徒のよさを褒め、認める言葉かけ

(2) 学力向上に向けた計画的実践 【学校課題1 学力向上】

- ①自ら考え、互いに高め合い表現しようとする姿勢を育て、「主体的・対話的で深い学び」の実現を目指す授業改善
 - ・ **生徒のよさ、やろうとしている姿勢を褒め、認める指導の徹底**
 - ・ **机間指導・個別指導を充実させ、生徒の考えをつなぎ・広げ・深める授業の実践**
 - ・ 1人1台端末の積極的な活用と個別最適化学習の推進
(GIGA スクール構想「1人の百歩より全員の1歩」⇒「全員で試行錯誤」)
- ②いしかわ道徳教育推進事業
 - ・ 前期：「考え、議論する道徳」の授業づくり ⇒ 後期：教科指導に生かす
- ③学力向上ロードマップを基にした全職員による取組の推進
- ④**キャリア教育の充実 ⇒ 夢・目標に向けて努力を続ける生徒の育成**
- ⑤**家庭学習の充実 ⇒ 内灘中学校「家庭学習ノート」の活用**

(2) 生徒指導の充実

- ①基本的な生活習慣と規範意識を高める指導の徹底
 - ・さわやかな挨拶、清掃、時間を守る行動等
- ②積極的な生徒指導の推進 【学校課題2 いじめ・不登校の未然防止】

生徒指導の3機能を授業、その他の教育活動に生かす
「存在感」…「自分は価値ある存在である」と実感すること
 「自己決定」…他の人を大切にすることを前提に、自分で決めること
 「共感的人間関係」…生徒同士、生徒と教師が互いを大切にすること
 ・ **生徒会活動の活性化 … 生徒に任せて褒め、認める場**
 ・ 教育相談の充実（不登校への対応と未然防止）… 関係機関との連携・協力

(3) 安心安全で信頼される学校づくり

- ①危機管理意識の向上
- ②積極的な情報発信と学校公開、学校評価の充実
- ③保護者・地域、校区内小学校との連携

(4) 教員の人材育成

①「若手早期育成プログラム」の日常的及び計画的実践 … 「任せて認める」

②「ミドルリーダー育成」の計画的実践

(5) 教職員の業務適正化に向けた取組の推進

①最終退校時刻、定時退庁日、学校閉庁日の設定

- ・時間外勤務時間が月80時間超の教員数を減らす
- ・業務の平準化及び校務分掌・部活動顧問の複数化
- ・産業医との連携

②部活動練習等の効率化 … 計画的な休養日の設定